

**第6次総合計画**

《将来像》

「郷土に愛着と誇りを持ち、豊かな自然の恵みを生かし、一人ひとりにやさしく、安全で安心して、健康で住み続けることのできる活力あるまち」

**社会動向**

- 少子・高齢化から人口減少社会へ  
結婚や子育てがしやすい環境づくり、高齢者の生きがいや介護対策など、安心できる高齢社会対策
- 価値観の多様化へ  
職業や生き方、家族形態の多様化、職業・結婚・生活様式などでの選択や自由度の拡大
- 共同体や生活単位の再構築へ  
地縁型コミュニティから新しい共同体づくりに向けた検討
- 地域間の競争の時代へ  
ふるさと納税、特区の推進など独自の地域づくりによる地域間競争
- 安全・安心重視へ  
自然災害に対する防災体制、防犯や交通安全など生活安全対策の強化
- 循環型の環境社会へ  
廃棄物対策の強化、リユース、リサイクルを基本の資源循環型社会の構築、自然環境の保全・継承
- 高速交通ネットワーク化とグローバル化社会へ  
東京五輪、リニア整備、高速道の延伸など意思に関わらず、様々な分野での国内外の人々との交流機会の拡大、社会動向の日常生活への影響
- 情報・物流のネットワーク社会へ  
行動圏の拡大の一方、家にいるが買物や消費行動など情報やモノの移動性の高まり
- 新しい助け合いや社会保障の視点の構築へ  
行動圏の拡大や情報通信などの利便性の向上の一方、交通弱者や情報弱者、経済的な格差など従来の社会保障の視点の見直し

**《大月市—地域づくり検討フロー》**

**グループ2**

**市民アンケートから**

- 地域活動や行事への参加は  
「している」66%、「していない」27%
- 市の将来人口については  
「増加意向」66%、「現状維持」23%  
「減少もやむなし」8.3%
- 産業の取り組みは  
「優良企業の誘致」41%  
「大型店舗の誘致」23%  
「入浴等保養施設の整備」20%  
「工業地の整備」20%など
- 広報大月を  
「毎月読む」人は61%  
「ホームページを見ている」人は23%
- 市の情報が充分伝達されていると  
「思う」12%、「思わない」31%
- 今後、重視すべきキーワードは、  
「福祉」26%、「自然」26%、「活気」25%  
「子育て」17%、「定住」17%、「環境」16%  
「産業」15%など
- 市の住良さについては  
「住みよい(肯定派)」32%  
「住みにくい(否定派)」38%
- 今後の居住意向は  
「市内居住意向」69%  
「市外への転出意向」29%

**①地域の現況(10年間で良くなったところ)**

- 1. 福祉・保健の充実**
  - 各地に児童館の設置
  - 大月市立中央病院の改修
- 2. 都市整備の進展**
  - 猿橋小学校、大月短期大学の校舎新設
  - 大月バイパスの整備
  - 大月駅前の整備・美化で利便性が向上
  - 桂川ウェルネスパークなどの公共施設の充実
- 3. 産業・観光の振興**
  - かがり火祭りや月の市、軽トラ市など、イベントの増加
  - 富士山の世界遺産登録で外国人観光客やハイカーが増加
  - 大月の山への来訪者の増加
  - 大月駅への外国人来訪者の増加
  - 猿橋に農産物直売所の設置
- 4. 人口減少への対策**
  - 都内で行われた市の住宅助成PR
- 5. 市民意識の向上**
  - 市民の地域づくり意識の向上

**①地域の現況(10年間で悪くなったところ)**

- 1. 福祉・保健面の問題点**
  - 大月市立中央病院の医師・診療科不足
- 2. 都市整備上の問題点**
  - 市役所や火葬場などの市の施設の老朽化
  - 市内に宿泊施設や温泉施設が少ない
  - バスが少なく、車がないと移動できない
- 3. 人口減少による悪影響**
  - 小中学校の統廃合や大月短大附属高校の廃校
- 4. 産業・観光面の問題点**
  - 個人経営の専門店など地元産業の衰退
  - 商工業者に後継者がいない
  - 鳥獣被害の増加
- 5. その他**
  - 悪いところがこの10年放置されていて、改善されていない
  - 財政が厳しいことを理由にして何でも節約しては、良い芽も育たない

**②地域の資源と可能性****1. 豊かな自然**

- 水源林の活用
- 富士山絶景ポイントのPR

**2. 他に誇れる歴史・文化**

- 旧甲州街道や本陣
- 本陣建築の星野家住宅
- 明治 37 年開通の旧笹子トンネル
- 旧道散歩道がある
- 縄文遺跡
- 歴史ある発電所の観光資源としての活用
- 歴史や発電に関するガイド養成

**3. 教育環境**

- 大月短大がある(若い人がいる)
- 大月短大の講義の聴講しやすさを向上させる
- 短大生を軸として人材を育成する

**4. 都市整備**

- バイオマス発電所の建設決定
- 水力発電を市役所で行う
- 防災インフラを整備する
- 市役所を新庁舎にする

**5. 人材**

- 大月のために頑張れる人を育成し、ネットワークを作る

**6. 産業・観光に活かせる資源**

- 閉店でシャッターを下ろして暗くしないで、駅周辺を人が歩くようにする
- 猿橋公園など桂川周辺の資源を活用する
- 軽トラ市を一過性のものにしないようにする
- 短大生が気軽にお酒を飲めるような店を地元で作る
- ボランティアガイドを育成する(大月2時間コース、5時間コースなど)

**③地域課題****1. 空家・空き店舗等の活用**

- 空家バンクの情報発信方法を改善し有効活用する
- 空家見学移住ツアーを企画する
- 空家に税金を多くかける
- 大月市を空家特区にして空家の家賃を低額にする
- 空家にならないように住み続けてもらえるまちにする

**2. 都市整備の推進**

- 使わなくなった施設の活用
- 大月駅北側の活用
- 市域の広い大月市だが、コンパクトシティの考え方でまちづくりを考える

**3. 病院機能の充実**

- 高齢者に配慮した、中央病院への交通アクセスの改善
- 中央病院の県や国への売却や、民間委託などで、経営を立て直す
- 中央病院に関する良い情報の発信
- 県東部の中核病院に育てる
- 医師の増員による救急対応
- 高度医療は山梨大学医学部附属病院や県立中央病院に任せて、日常の地域医療の充実を図る

**4. 人口減少対策**

- 市庁舎等の建て替えに際して中層マンション化など、民間資金を使って人口増につながる方向を検討

**5. 産業・観光の振興**

- 新大月橋完成後は、路上パーキングを設置して歩けるまちにする
- 立ち寄り湯の設置など、大月市に足を留めてもらう仕組み作り
- 訪れやすく見やすい観光地づくりの推進で観光客増加を図る
- 都留や八王子ではなく、大月に来たくなるまちにする
- 道の駅を作り農業振興・土地利用につなげる
- 市民による地産地消で、地元の産業を育てる
- 観光ルート設定や観光客安全対策
- 市を流れる川の特徴のアピール
- 交通の要所であることのアピール
- 大月の歴史と文化のアピール
- 若者に魅力あるまちにする
- 自然のアピール

**6. その他**

- 税収アップを図る
- 都内の水道水利権の収益化を図る
- 子どもへの自然の素晴らしさを伝える教育の実施

**④今後 10 年間の重点取り組み****1. 山を活かす**

- 小中学生に森林教育やふるさと教育を行う
- 森林教育を林業従事者育成につなげて林業を活性化し、雇用を増やす
- 市民が市内の良い森林をリストアップし利用方法を行政に提案する
- 秀麗富嶽十二景を増やす
- 登山道口への公衆トイレ設置
- 富士山を大月の富士山としてPRする

**2. 川を活かす**

- 猿橋の水辺周辺整備や市のPRや取り組みへの有効活用
- 釣り客用の駐車場の設置

**3. 旧甲州街道を活かす**

- 大月駅から市役所までを歩行者天国にして馬車を走らせる
- 車ではなく、歩く甲州街道をつくる

**4. 市立病院を東部診療拠点にする****5. 清潔なまちづくり**

- ボランティアを育成し、掃除や花を飾るなど、駅周辺の美化の実施

**6. 商店街を明るくする**

- 空き店舗の活用しやすさ向上
- 営業時間外もシャッターを開ける
- 市民の地元店舗利用意識の醸成

**7. 子育てや介護の助け合いが気軽にできるようにする**

- 周辺で声を掛けあう組織をつくる

**●他グループの視点を参考に追加した項目**

- 北口の整備
- 人口減少対策
- 地場産業の活性化
- 一人ひとりの思いの共有
- 世代を超えた交流

⑤地域づくりの方向性(キーワード)

連携、やすらぎ、活かす、つながり、新しい、安全、安心、おもてなし、清潔、近い、自然、地域資源、にぎわい、楽しい、祭り、週末、出会い、つくる、地の利、人づくり



⑥大月の将来像(テーマ)

(案1)ずっと住みたくなるまち 大月

(案2)近いから大月 ~ひとに 都会(まち)に 自然に~



近いから大月 ~ひとに 都会(まち)に 自然に~